

令和6年度 板橋区立郷土芸能伝承館企画・運営協議会 会議録

会議名	令和6年度 板橋区立郷土芸能伝承館企画・運営協議会
開催日時	令和6年8月1日（木）午後6時00分から
開催場所	板橋区立郷土芸能伝承館 地下1階芸能練習室
出席者	23人 【委員】13人 学識経験を有する者2名 民俗芸能等を保持・伝承する団体の代表11名 【区職員（事務局）】5人 生涯学習課長、文化財係長、文化財係員3名 【指定管理者】4人 郷土芸能伝承館館長、副館長、本社担当者2名
会議の公開 （傍聴）	公開（傍聴できる）
次第	1 開会挨拶 2 委嘱状交付 3 委員挨拶 4 職員紹介 5 議題 （1）令和5年度事業実績報告 （2）令和6年度事業計画 （3）その他 6 閉会
配付資料	（1）令和5年度事業実績報告書 ①令和5年度郷土芸能伝承館利用実績 ②令和5年度郷土芸能伝承館関係事業実績 ③令和5年度郷土芸能普及公開並びに啓発事業実績 （2）令和6年度事業計画書 ①令和6年度郷土芸能伝承館関係事業計画 ②令和6年度郷土芸能普及公開並びに啓発事業計画
審議状況 （会議概要）	（1）令和5年度事業実績報告 上記について事務局より報告し、承認を得る。 （2）令和6年度事業計画 上記について事務局より提案し、承認を得る。
所管課	生涯学習課文化財係 TEL 03（3579）2636 FAX 03（3579）2635

【会議概要】

<p>概 要</p>	<p><b>1 開会挨拶</b> 生涯学習課長より開会挨拶。</p> <p><b>2 委員委嘱</b> 各委員へ委嘱状を交付。</p> <p><b>3 委員挨拶</b> 各委員より自己紹介及び各保存会の活動状況報告。</p> <p><b>4 職員紹介</b> 区職員及び指定管理者の紹介。</p> <p><b>5 議題</b></p>
<p>意見等</p>	<p><b>(1) 令和5年度事業実績報告</b> 会議資料に沿って事務局が審議内容を説明し、委員の承認を得た。 《 質疑応答 》 【委員A】令和5年度に実施した修繕工事のうち、備品太鼓の修繕費用はどの程度であったか。 【事務局】備品太鼓は5か年の修繕計画で順次修繕を行っており、費用は1年で約30万円かかっている。 ( 承 認 )</p> <p><b>(2) 令和6年度事業計画</b> 会議資料に沿って事務局が審議内容を説明し、委員の承認を得た。 《 質疑応答 》 【委員B】郷土芸能伝承館の自主事業である「アフタヌーンコンサート」について詳しくお聞かせ願いたい。出演者は募集しているのか、クラシックなども行っているのか。 【指定管理者】アフタヌーンコンサートは、伝承館1階の舞台を利用して、ピアノやその他の演奏会を行っている。出演者は指定管理者が選定しており、クラシックや日本の曲も上演している。 【委員B】「ふるさと文化伝承事業」を受講した子どもたちが「いたばしの郷土芸能」に出演する機会はないのか。子どもたちにもぜひ活躍してほしい。 【委員C】学校側が対応可能な体制であれば、民俗芸能の保存団体として打診は可能である。ただし、子どもたちも学習塾等で多忙と思う。 【事務局】令和5年度「いたばしの郷土芸能」には成増ヶ丘小学校のロボットチームが出演した。過年度にも成増周辺の小学校に声をかけたことがある。難しい部</p>

分もあるが、今後も子どもたちの出演を検討していきたい。

【委員D】ふるさと文化伝承事業の対象校はどのように選定しているのか。保存会から新たな学校に声をかけることは可能か。

【事務局】郷土芸能が伝承している地域の小学校を主に対象校としている。各保存会から学校にお声かけいただくことは可能だが、年間に対応可能な学校数にも限りがあるため、その調整は必要になる。

【委員E】東京都民俗芸能大会の詳細はどのようになっているか。

【事務局】今年度は板橋区が開催地となっており、今回のテーマが「稲作」のため、両田遊び保存会には1日ずつ出演をお願いしたい。出演日は両保存会でご調整願いたい。なお、ゲスト出演枠については、都事務局がワークショップを実施予定で、前回開催地である文京区の団体が参加予定となっている。

また、令和6年度郷土芸能大会（農業まつり）・いたばしの郷土芸能について、今年はそれぞれ萩原由郎社中・成増里神楽保存会の出演順だが、11月の記念公演や梅まつりもあるため、今年度に限り出演事業を入れ替えてはどうか。両保存会で調整いただきたい。

（ 承 認 ）

### （3）その他

【委員B】相模流萩原由郎社中が都指定文化財となったことに伴い区登録文化財へ変更になるが、変更後も「いたばしの郷土芸能」への出演は継続されるのか。

【事務局】引き続き出演いただく。

【委員B】繰り返しになるが、板橋区の郷土芸能はバラエティに富む。子どもの参加に関してお知恵を貸していただきたい。

【委員F】旧粕谷家住宅はいい雰囲気をもっているため、今後の活用に期待したい。また、年配の方向けの事業が多いため、これからはやる人、みる人どちらも年齢層を下げていく方策が必要だと思う。

【委員D】子どもへの民俗芸能の周知方法について思いついたことを提案したい。子ども限定の講座を行ってはどうか。また、興味を持った親子向けの入会窓口を伝承館に担ってもらうことはできないか。入会につながるかもしれない。

【委員B】民俗芸能は知ってもらうだけではなく、体験してもらうことが重要である。福井県のある地域では大人組と中学生の組に分けて、芸能を行っている事例がある。子どもに体験してもらうことが大切である。

【事務局】いろいろご意見をいただき、検討したい。民俗芸能の公開練習などの工夫が必要である。また、郷土芸能伝承館は民俗芸能団体のための施設であるため、加入窓口の機能を担う余地はあると思われる。今後、指定管理者と適切な形を協議していきたい。

	6 閉会
	会議の概要は、以上のとおりである。